

地方創生 SDGs 金融調査・研究会(第 30 回)の開催結果について (概要)

○日時:令和 6 年 12 月 25 日 13:00-15:00

○場所:ハイブリッド(内閣府・オンライン)

○出席委員:村上座長、竹ヶ原座長代理、大久保(尊)委員、大久保(光)委員、太田委員、
大橋委員、金井委員、萱津委員、重藤委員、千葉委員、富永委員

○議事総括:

① 先導的事例の調査・研究(西和賀町)

- ・ 西和賀町・ユキノチカラ事務局・北上信用金庫より、ユキノチカラプロジェクトについての説明
- ・ 委員からの質問や意見は次のとおり
 - 地域金融機関はどのような役割を果たしていたか
 - ふるさと納税の寄付を利用して、ユキノチカラプロジェクトを支援することで地域事業者の活性化に繋がり、それによって寄付額が増加するといった好循環は生じているか
 - ユキノチカラプロジェクトによる支援を通じて、地域事業者に好影響をもたらした事例はあるか
 - ユキノチカラプロジェクト協議会では会費を集めていたのか
 - 販売営業活動に係る費用はどのようにまかなっていたのか
 - 補助金の交付が終了した後、地域事業者主体で自走することが難しかったと想定されるが、どのように乗り越えたのか
 - 北上信用金庫の支援が機能している好事例であると考えている
 - 補助金支援が終了した後の活動について、自治体のサポート等が必要なのではないか

② 先導的事例の調査・研究(富士宮市)

- ・ 富士宮市・富士の国乳業・静岡銀行より、牛乳製造販売事業会社設立についての説明があった
- ・ 委員からの質問や意見は次のとおり
 - 高品質の牛乳を生産することにより乳価を高めることができたとあるが、学乳の提供時にも同様の乳価であるのか
 - 高品質な牛乳を全国展開できると考えているか

- 富士宮市からの補助金について、議会での承認は難航したか
- 事業計画の段階で、学乳以外の販路も検討していたのか
- 取組の深化として、どのようなインパクトを創出できるかを明確にできると、取組としてさらに良くなるのではないか

○今後の展開

- ・ 次回第 31 回調査・研究会において、大分県及び北九州市へのヒアリングを実施予定